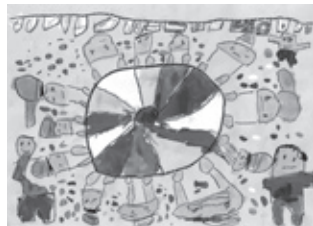


「うんどうかい」

足利 義智（あしかが よしとも） 5歳

西山幼稚園
（京都教区）

●表紙のことば●



バルーンを囲むように自分たちを描き、その手はしっかりバルーンをつかんでいます。実際に見たわけではないのに、真上から見下ろしたように描かれています。いわゆる「展開描法」といわれる5歳前後から見られるようになるこの時期のこどもの表現に見られる特徴です。しかし、万国旗は上部に描かれ、応援している家族は正立して描かれています。このように、一つの画面に複数の視点が混在する「多視点表現」もこの時期独特の表現です。

うんどうかいで楽しかったことを思い起こす中で、よしとも君は、みんなでタイミングを合わせてたくさんのボールを跳ね上げる「花火」がうまくいったことに達成感を感じたらしく、ともだちと「楽しかったなー」と話しながら描いていったそうです。こうした経験を自信に繋げてもらいたい、そして「楽しい」を素直に表現できる雰囲気づくりを大切にしたい、との先生の願いがこの題材に見事に反映されました。

おおはし いさお
大橋 功

岡山大学大学院
教育学研究科